

2017年4月28日発行

科学史通信 2017年 No.429

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目13番地1号 嶋津ビル202号
日本科学史学会 電話・Fax 03-3239-0545 振替口座 00120-3-175316
ホームページURL <http://historyofscience.jp/>

目次

日本科学史学会2017年度総会・第64回年会のお知らせ(最終回)	1
日本科学史学会2017年度総会・第64回年会プログラム	2
第6回全体委員会報告	6
日本科学史学会の学会賞が決まりました	7
日本科学史学会役員選挙について	8
第4回選挙管理委員会	8
2017～2018年度 役員選挙投票結果	8
選挙公報の誤りについてお詫びと経過報告 選挙管理委員会	9
科学史学校のお知らせ 普及委員会	9
研究倫理規定の制定について 研究倫理委員長 夏目賢一	9
リオデジャネイロ 第25回国際科学史会議 日本学術会議 IUHPST 委員長 木本忠昭	11
サイエンスカフェ・科学技術史 開催のお知らせ 兵藤友博、小長谷大介	12
事務局連絡／編集後記／入退会者	12-13
科学史学校第30期開催のお知らせ	13
年総会会場案内図	14

日本科学史学会2017年度総会・ 第64回年会のお知らせ(最終回)

1. 期日：2017年6月3日(土)、4日(日)
2. 場所：香川大学教育学部(香川県高松市幸町1-1)
3. 交通：JR「高松」駅下車、徒歩20分、タクシー10分(約800円)／JR「昭和町」駅下車、徒歩5分。
4. 宿泊：各自手配をお願いします。早めの手配をおすすめします。
5. プログラム：一般講演(通常枠)は発表15分＋質疑応答5分、計20分。一般講演(長時間枠)は発表30分＋質疑応答10分、計40分。シンポジウムは150分。シンポジウムの進行は各代表者にお任せしています。
6. 年会参加費等：年会参加費(講演要旨集代1冊分を含む、会員・非会員とも)は、一般4,000円、学生2,000円(当日学生証をご提示下さい)です。懇親会費4,000円、講演要旨集代1冊1,500円。郵便振替用紙で**2017年5月24日(水)**までに振り込んで下さい(ゆうちょ銀行／加入者名：日本科学史学会第64回年会総会準備委員会 01680-6-133164)。受付業務簡素化のためにできるだけ事前に振り込んで

頂きたいと思いますのでご協力をお願いいたします。なお、ネットで振り込まれる際には、別途メールで振込日と内訳をお知らせ下さい。シンポジウムは公開とし、非会員の方に限り資料代1,000円でシンポジウムを聴講できます。

7. 発表者の会費納入：一般講演予定者は、2016年度と2017年度の会費を納入しておく必要がありますのでご注意ください。
8. 委任状：総会に欠席の会員の方は、同封の委任状はがきに署名・捺印の上、**2017年5月31日(水)**までに返送下さい。
9. 昼食：土曜日・日曜日とも大学生協食堂が利用できます。
10. 配付資料：発表者はレジュメなどの資料をあらかじめ多めに作成してご持参下さい。
11. パワーポイント：会場には、パソコン

(OS:Windows) が設置されています。一般講演でパワーポイントを使用される方は、USBメモリでファイルを持参し、わかりやすい名前を付けて、セッション開始前の休み時間に、デスクトップに複写して下さい。備え付けのパソコンはインターネットに接続できます。RGB アナログ端子で出力するパソコンを持参して使用することもできます。ご自分のパソコンの使用をご希望の方も、当該セッション前の休み時間に会場係にお申し出下さい。

12. 年会・総会準備委員会連絡先：〒760-8522 香川県高松市幸町1-1 香川大学教育学部 北林雅洋 気付日本科学史学会第64回年会総会準備委員会 / e-mail: hssj2017(後ろに@ ed.kagawa-u.ac.jp を追加してください) / TEL: 087-832-1462 / 準備委員：北林雅洋(香川大学)、松村雅文(香川大学)、三宅岳史(香川大学)

日本科学史学会2017年度総会・第64回年会プログラム

2017年6月3日(土)

- 09:45ー 受付開始
10:30ー12:10 一般講演(A会場、B会場、C会場、D会場)
13:00ー15:30 シンポジウム(A会場、B会場、D会場)
15:40ー16:40 記念講演(D会場)
16:50ー18:20 総会(E会場)
18:30ー20:30 懇親会

2017年6月4日(日)

- 08:30ー 受付開始
09:00ー10:20 一般講演(A会場、B会場、C会場、D会場)
10:30ー11:50 一般講演(A会場、B会場、C会場、D会場)
12:50ー13:50 一般講演(A会場、B会場、C会場、D会場)
14:00ー16:30 シンポジウム(A会場、B会場、D会場)

2017年6月3日(土)一般講演 10:30~12:10

〈A会場411〉

- | | | |
|------------|----------------------------|------|
| 10:30ー A11 | 昭和戦後期の科学研究費助成 | 水沢 光 |
| 10:50ー A12 | 松前重義：工業立国論から「科学技術新体制確立要綱」へ | 大淀昇一 |
| 11:10ー A13 | 成瀬政男の技術思想について | 吉葉恭行 |
| 11:30ー A14 | 海水淡水化用RO膜の開発・古川薫 | 本庄孝子 |

11:50ー A15 大変革へと繋がった化学史上の変則事例を引き起した前兆現象の
発生条件とその基盤 鈴木羽留香

〈B会場412〉

10:30ー B11 久米邦武の論文・「神籠石は全地球の問題」について 福川知子
10:50ー B12 植民地朝鮮における伝統的時間制の近代的再編 宮川卓也
11:10ー B13 古代中国の宇宙観と初期二十八宿 福島雅淳
11:30ー B14 仏教平天儀「兩曜運旋略儀」について 梅林誠爾
11:50ー B15 天文学者・平山清次〜つなぎ役のダイナミズムと悲哀〜 吉田省子

〈C会場413〉

10:30ー C11 太田仁吉と小学校における映画教育のコミュニティ：
日本の科学教育における映像メディアの学習論的・歴史的検討 吉岡有文
10:50ー C12 明治150年程迄の授業記録探索研究で解明する科学教育の実相と今日的価値 小林昭三
11:10ー C13 第三次小学校令中改正に伴う尋常小学校理科必修の波及効果
―大正期における簡易物理実験ブームの背景― 赤羽 明
11:30ー C14 統計数理研究所と日本の統計学 上藤一郎
11:50ー C15 東北大学図書館の木村駿吉旧蔵書 初山高仁

〈D会場314〉

10:30ー D11 台北帝国大学数学教室と加藤平左衛門教授の和算書コレクション 城地 茂
10:50ー D12 『原論』第XII巻の二つの伝承：ボローニャ写本の検討 斎藤 憲
11:10ー D13 ヴィエト「記号計算についての前注釈」における比の扱い 北 秀和
11:30ー D14 オーギュスト・コントの数学思想：『実証哲学講義』における 平井正人
11:50ー D15 青蒿のラテン名比定までの経緯について 久保輝幸

2017年6月3日(土) シンポジウム 13:00~15:30

〈A会場411〉

2010年代における日本のエネルギー転換をめぐる諸問題

吉岡斉・川野祐二・黒田光太郎・関東晋慈

〈B会場412〉

高等教育における科学技術史と科学基礎論―

「科学史・技術史関連科目の開講状況に関する調査」を踏まえて

隠岐さや香・杉本舞・村上祐子・小長谷大介・佐野正博・松原洋子

〈D会場314〉

軍事研究と学術体制

三宅岳史・河村豊・林真理・山本由美子・木本忠昭

2017年6月4日(日) 一般講演 9:00~10:20

〈A会場411〉

- 09:00ー A21 大規模風力発電施設による超・低周波音問題(その3)
ー日本の新しい公害とされた「低周波空気振動」の実測調査と
感覚反応実験(1980年前後)に見る先駆性ー
後藤美智子
- 09:20ー A22 科学の教育ー東京大学教養英語課目における教養と科学
田野尻哲郎
- 09:40ー A23 1980年代の日本における家庭とコンピュータの関係
A24 (*長時間枠)
鈴木真奈

〈B会場 412〉

- 09:00ー B21 ドライアストロノミーの時代と日本の天文学
田島俊之
- 09:20ー B22 地学会編『本邦化石産地目録』(1884)からわかること
矢島道子
- 09:40ー B23 地体構造論と地政学の間ー地質学者望月勝海(1905-1963)の戦中・戦後
山田俊弘
- 10:00ー B24 上海自然科学研究所接收の経緯
八耳俊文

〈C会場 413〉

- 09:00ー C21 フランスにおけるド・ブロイ理論の評価
小島智恵子
- 09:20ー C22 日本の量子力学受容における解析力学の役割ー長岡半太郎の場合ー
福永浩一
- 09:40ー C23 1930年前後の湯川秀樹:日本における場の量子論研究の出発点を考える
小長谷大介
- 10:00ー C24 アインシュタインの固体比熱の量子論の意義について
古谷紳太郎

〈D会場 314〉

- 09:00ー D21 古代ギリシャ医学におけるレプラとエレファンティアシス
D22 (*長時間枠)
堀 忠
- 09:40ー D23 中世イスラーム世界に女性医学者は存在したのか?ータバリー
『ヒッポクラテスの治療』での証言を通して
三村太郎
- 10:00ー D24 医学者ディオクレスの精神病理論におけるヒッポクラテス医学の影響
今井正浩

2017年6月4日(日) 一般講演 10:30~11:50

〈A会場 411〉

- 10:30ー A31 屋内に残された放射性セシウムから見えてくる原発事故後の6年間
山内知也
- 10:50ー A32 低線量被曝問題とアグノトロジー(無知論)
藤岡 毅
- 11:10ー A33 一般書における原子力災害に関わる知識ー1970年代を中心に
横田陽子
- 11:30ー A34 原子炉の立地問題と安全性研究
高橋智子

〈B会場 412〉

- 10:30ー B31 世界の歴史的病院の諸相ー41回の連載から
石田純郎
- 10:50ー B32 引揚援護医療における人工妊娠中絶事業の検討
松原洋子
- 11:10ー B33 「統合性」概念の歴史的変遷ー現代の生と死の再考に向けてー
B34 (*長時間枠)
小宮山陽子

〈C会場413〉

- | | | | |
|--------|-----|--|------|
| 10:30ー | C31 | 明治以降の「研究」概念の変遷: "Research" と「研究」の差を考える | 村松 洋 |
| 10:50ー | C32 | 動物学・植物学関係の理学会史設立賛同者 | 溝口 元 |
| 11:10ー | C33 | 科学史学会成立以前の日本における科学史の需要 | 岡田大士 |
| 11:30ー | C34 | 初期の岩波書店『科学』にみる科学史学会創設メンバー | 渋谷一夫 |

〈D会場314〉

- | | | | |
|--------|-----|--------------------------|-------|
| 10:30ー | D31 | 1930年代カリフォルニア大学の直面した財政状況 | 日野川静枝 |
| 10:50ー | D32 | 仁科芳雄と科学者の平和運動 | 山崎正勝 |
| 11:10ー | D33 | 日本における科学者運動と日米関係 | 栗原岳史 |
| 11:30ー | D34 | 1950年代ヨーロッパにおける「数値解析」 | 河西棟馬 |

2017年6月4日(日) 一般講演 12:50~13:50

〈A会場411〉

- | | | | |
|--------|-----|------------------------------------|------|
| 12:50ー | A41 | JRR-3をめぐる技術援助と保障措置: IAEA 理事会議事録の分析 | 伊藤憲二 |
| 13:10ー | A42 | 泡箱写真解析と高精度ブラウン管 | 小山俊士 |

〈B会場412〉

- | | | | |
|--------|-----|------------------------------|------|
| 12:50ー | B41 | 生理学、優生学、民族主義: 朝鮮人生理学者・李甲洙の場合 | 愼 蒼健 |
| 13:10ー | B42 | 徳島初の開業女医長木イシ(露木イシ)の足跡 | 西條敏美 |
| 13:30ー | B43 | 石炭産業の衰退と産炭地—長崎県池島炭鉱の事例 | 中村征樹 |

〈C会場413〉

- | | | | |
|--------|-----|---|------|
| 12:50ー | C41 | 中国電気自動車発展事情について | 李 霄 |
| 13:10ー | C42 | 中国にはいっぱい風車を立てても、なぜ送電していないか | 張 煥新 |
| 13:30ー | C43 | 新生児マス・スクリーニングへのタンデムマス質量分析計の導入
—SIDS(新生児突然死症候群)とタンデムマス質量分析計の関連に着目して | 笹谷絵里 |

〈D会場314〉

- | | | | |
|--------|-----|-------------------------|-------|
| 12:50ー | D41 | ニュートンに見失われにけプラー順問題の普遍定数 | 杉本 剛 |
| 13:10ー | D42 | ニュートンの音楽と機械論 | 工藤璃輝 |
| 13:30ー | D43 | ニュートンの7色理論と観察結果のギャップを測る | 多久和理実 |

2017年6月4日(日) シンポジウム 14:00~16:30

〈A会場411〉

科学とカネ 櫻井文子・隠岐さや香・丸山雄生・佐渡友陽一

〈B会場412〉

「周期律」から「叡知圏」へ—科学史研究史における梶雅範(1956-2016)—

市川浩・古川安・金山浩司・齋藤宏文・和田正法・工藤璃輝・古谷伸太郎・岡田大士
中島秀人・藤岡毅

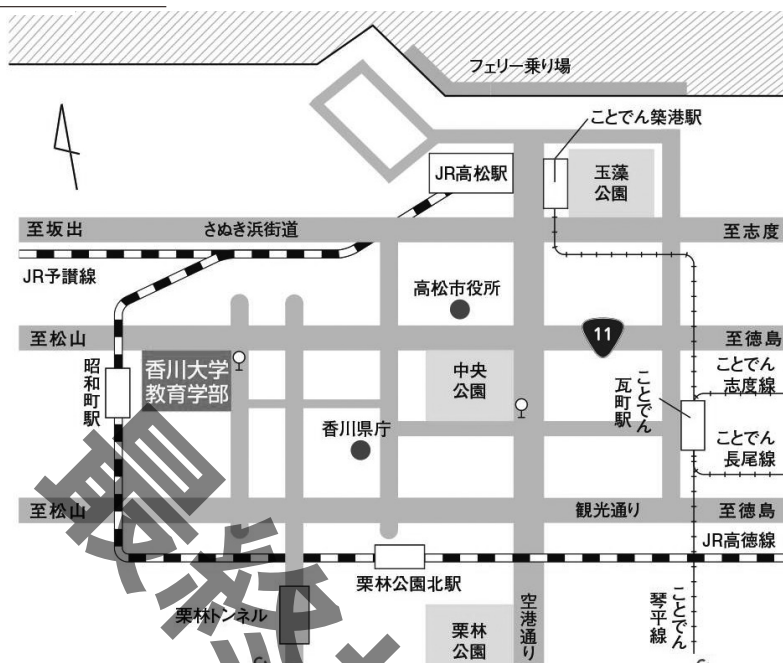
〈D会場314〉

科学論・技術論の現代史—日本の STS の歴史的定位のために—

木原英逸・吉岡斉・田中智彦・塚原東吾・後藤邦夫・桑原雅子

豊添校正用

年総会会場案内図



■交通

JR：JR 高徳線「高松」駅→「昭和町」駅下車、徒歩5分／タクシー：JR「高松」駅→香川大学10分(約800円)／徒歩：JR「高松」駅より20分

